

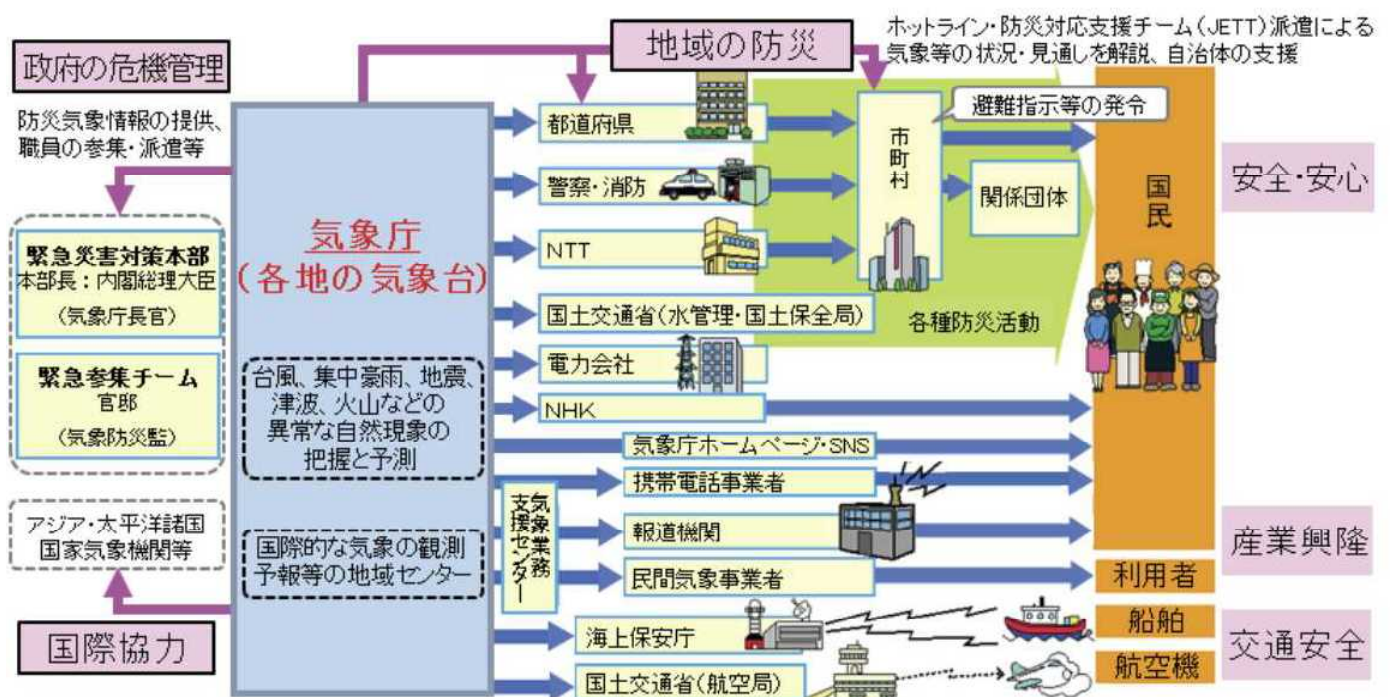
防災気象情報の 発表・伝達、役割等

令和7年4月
沖縄気象台地域防災推進課

1

防災気象情報の発表・伝達

- 防災気象情報を、防災関係機関にオンラインで迅速に伝達すると同時に、テレビ・ラジオやホームページ、SNS 等を通じて広く国民に発表。
- 防災気象情報を防災機関や住民に効果的に伝達することにより、地域における防災力の強化や気象災害に伴う被害の防止・軽減を図る。



防災気象情報の役割

- 市町村の「避難情報の発令判断を支援」する役割。
- 「住民が自ら行動をとる際の判断に参考となる情報」という役割。



住民が自主的に避難行動をとるためには、市町村の避難情報(行動指南型情報)と気象庁等の防災気象情報等(状況情報)の組み合わせが重要。

3

警戒レベルとは

- 警戒レベルとは、災害発生の危険度と、とるべき避難行動を、住民が直感的に理解するための情報。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保※1
<警戒レベル4までに必ず避難！>			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示(注)
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない

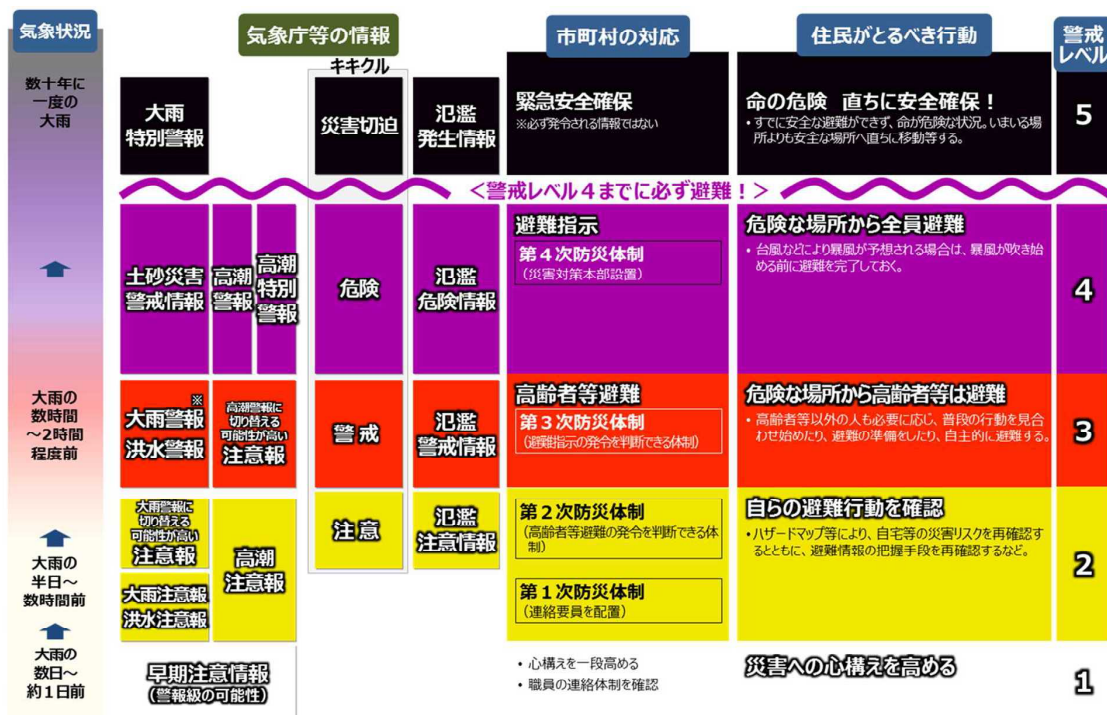
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである

(注) 避難指示は、令和3年の災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令する

防災気象情報と警戒レベルとの対応について

気象台は、防災機関の活動や住民の安全確保行動の判断を支援するため、気象災害の重大さや可能性に応じて、段階的に発表します。

段階的に発表される防災気象情報と対応する行動

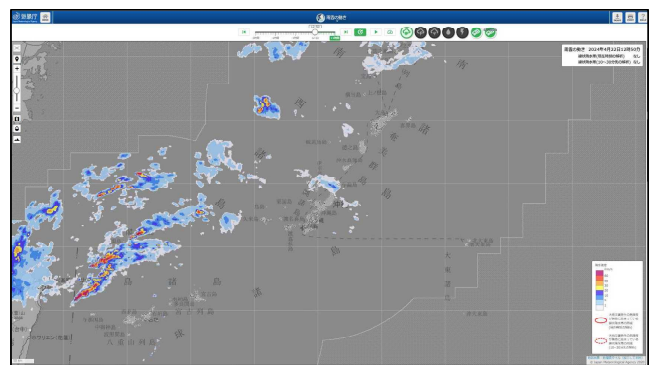


※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

5

防災気象情報（気象情報）の入手方法



早期注意情報

警報・注意報 (今後の推移)

クリック

気象情報

雨雲の動き

気象台からのコメント

土砂キキクル

浸水キキクル

洪水キキクル

防災気象情報（地震・津波・火山）の入手方法

クリック

地震情報

地震検知日時	震央地名	深さ	マグニチュード	最大震度	対象市町村の最大震度
2024年04月12日18時00分	奄美大島近海	30 km	4.9	震度3	震度1
2024年04月10日11時39分	沖縄本島近海	70 km	3.6	震度1	震度1

地震解説資料

番号	発表時刻	地震解説資料 (前原版)	地震解説資料 (府県版)
1	2024年04月03日10時30分	地震解説資料 (前原版) 沖縄気象台	地震解説資料 (府県版) 沖縄気象台
2	2024年04月03日09時13分	地震解説資料 (前原版) 沖縄気象台	地震解説資料 (府県版) 沖縄気象台

津波

現在、大津波警報・津波警報・津波注意報・津波予報 (若干の海面変動) を発表していません。

気象庁防災対応支援チーム（JETT）

- 大規模な災害時に、都道府県や市町村等へJETTとして気象庁職員を派遣。
- 現場のニーズや各機関の活動状況を踏まえた気象等のきめ細やかな解説を行う。
- 国土交通省のTEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) の一員として活動。

